

六甲山木匠塾活動報告「木製ベンチの設置効果」 —高取山森林保全・砂防啓発アンケート集計/概要版—

2011.5.22
木匠塾実行委員会

○目的

・山道沿いに設置した「木製ベンチ」及び「砂防・森林保全説明パネル」によって、来訪者に及ぼす森林保全や砂防等に関する意識の変化の実態を把握し、砂防や森林保全の啓発に寄与すること。

※「木製ベンチ」は六甲山木匠塾の建築系大学生らが制作し、「砂防・森林保全説明パネル」は国土交通省六甲砂防事務所から貸出を受けた。

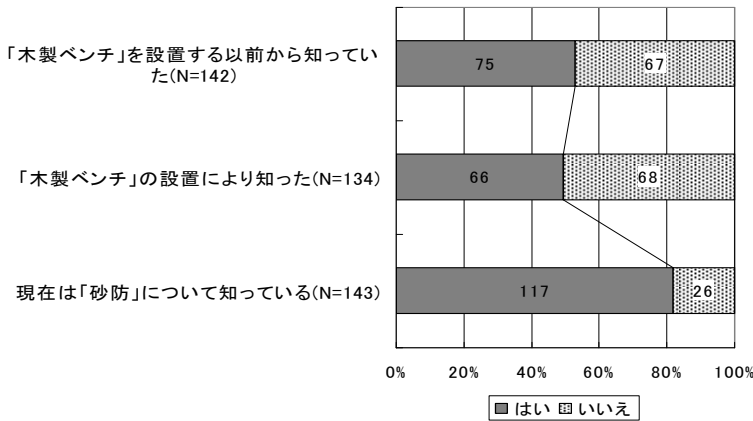
○方法

部数:150 部配布・回収(有効回答数 147)
対象:登山者等(地元の60,70歳代が大半で、男性が女性よりやや多かった)
実施:2011年3月16日午前6時45分頃～11時30分頃
場所:神戸市長田区高取山町安井茶屋付近
木製ベンチ制作期間:2011年2月21日～25日 敷地:約80㎡の山道沿いの空地(私有地)
約6.5㎡の規模でコの字型に配置。敷地内の目立つ所に砂防・森林保全説明パネルを設置。

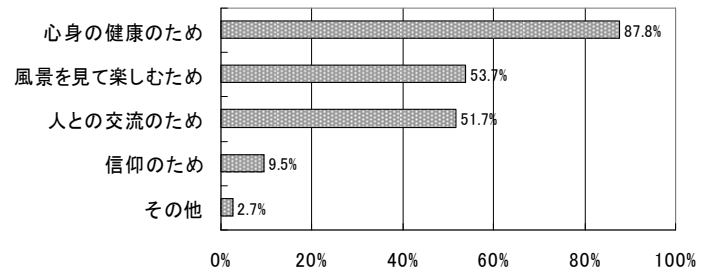
○結果の概要

・多くの人は「心身の健康」を登山の「目的」や「効果」として山に訪れていた。
・来訪者の半数以上の人々が砂防について「認知」していた。
・木製ベンチの設置により、さらに砂防の「認知」が増した。
・「人との交流」を「目的」として山に来た人には、木製ベンチの設置により「森林等,自然環境への関心」がみられた。

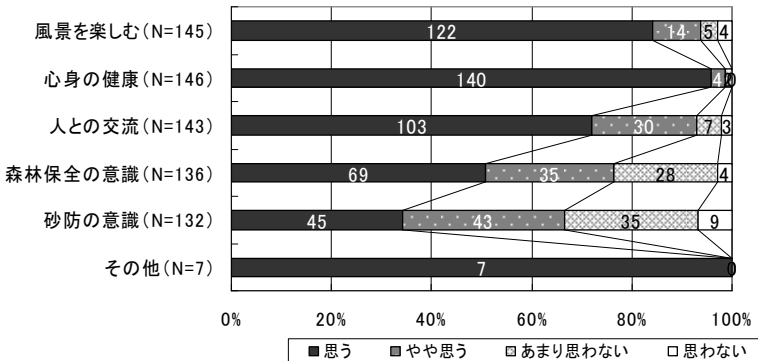
砂防の「認知」状況



登山やハイキングの「目的」(N=147 複数回答可)



登山やハイキングの「効果」



木製ベンチの設置による「効果」

